

橋本育英福祉基金

令和5年度 第1回運営委員会資料

- 岩見沢市育英福祉基金の概要① P 1
- 岩見沢市育英福祉基金の概要② P 2
- 基金の運用状況推移 P 3
- 基金充当事業の年度別推移 P 4
- 充当事業のうち福祉事業の概要 P 5
- 令和5年度充当事業について【福祉事業①】 . . . P 6
- 令和5年度充当事業について【福祉事業②】 . . . P 8
- 充当事業のうち育英事業の概要 P 9
- 令和5年度充当事業について【育英事業】 . . . P10
- 基金充当事業として考えられる事業 P11

令和5年12月

岩見沢市育英福祉基金の概要①

1. 目的(基金条例第1条)

当市の育英及び社会福祉事業推進の財源となる基金の設置、及び運営について、必要な事項を定めることを目的とする。

2. 基金とする財産(基金条例第3条)

(1) 宅地 (昭和49年7月 橋本カタ様から 寄附)

岩見沢市3条西2丁目11番地の1	1,048.16㎡
岩見沢市3条西2丁目11番地の2	522.08㎡
岩見沢市4条西2丁目1番地の1	319.96㎡
岩見沢市4条西2丁目1番地の2	159.37㎡
計	2,049.57㎡



(2) 現金(令和4年度までの累計)

(単位：円)

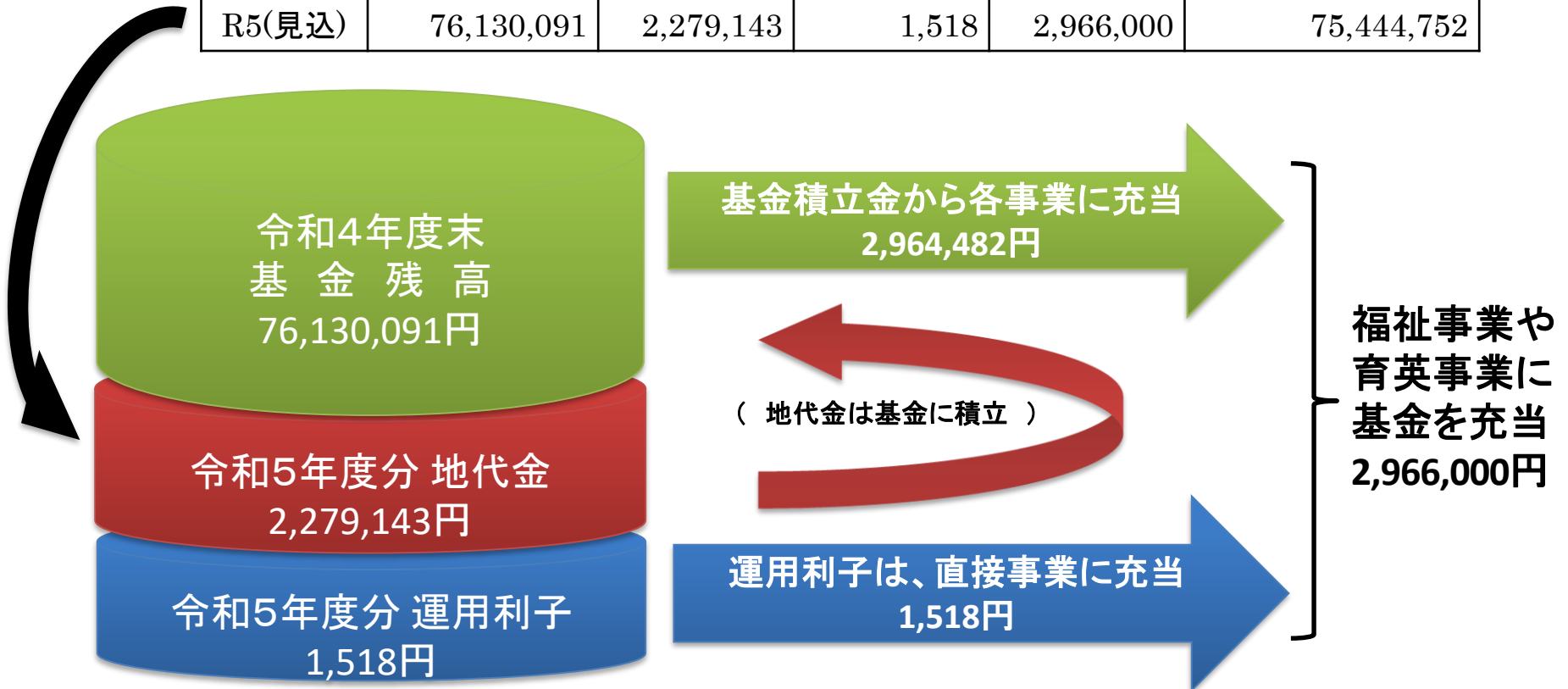
収入 ①			支出 ②	現在額 (①-②)
権利金	地代金	運用収入	取崩し	
35,960,000	191,160,897	19,977,762	170,968,568	76,130,091

岩見沢市育英福祉基金の概要②

3. 令和4年度末基金の状況及び令和5年度見込

(単位：円)

年 度	前年度末残金 ①	地代金 ②	運用利子 ③	事業充当額 ④取崩し	基金現金累計 (①+②+③-④)
R4	76,679,416	2,279,143	1,532	2,830,000	76,130,091
R5(見込)	76,130,091	2,279,143	1,518	2,966,000	75,444,752



基金の運用状況推移

(単位:円)

年 度	前年度末現金 ①	収 入			支 出	基金現金累計 (①+②+③-④)
		地代金 ②	運用利子 ③ (平均利率)	計 ②+③	取崩し ④	
H30	79,336,802	2,413,746	7,910 (0.010%)	2,421,656	2,651,656	79,106,802
R1	79,106,802	2,313,459	7,975 (0.010%)	2,321,434	3,242,000	78,186,236
R2	78,186,236	2,313,459	4,699 (0.006%)	2,318,158	2,313,000	78,191,394
R3	78,191,394	2,313,459	1,563 (0.002%)	2,315,022	3,827,000	76,679,416
R4	76,679,416	2,279,143	1,532 (0.002%)	2,280,675	2,830,000	76,130,091
R5(見込)	76,130,091	2,279,143	1,518 (0.002%)	2,280,661	2,966,000	75,444,752

基金充当事業の年度別推移

(単位:円)

年度	充当金額 合計	充当事業			
		福祉事業① (ブックスタート事業)	福祉事業② (あそびの広場運営事業)	福祉事業③ (健康経営推進事業)	育英事業 (国際交流推進事業)
H30	2,651,656	1,521,000	230,000		900,656
R1	3,242,000	1,484,000	929,500		828,500
R2	2,313,000	1,443,000		627,000	243,000
R3	3,827,000	1,242,000	1,980,000	605,000	0
R4	2,830,000	1,150,000		550,000	1,130,000
R5(見込)	2,966,000	1,061,000		686,000	1,219,000

充当事業のうち福祉事業の概要

年 度	基金充当額	事業名	事 業 概 要
H30	1,751,000	ブックスタート事業 1,521,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		あそびの広場運営事業 230,000	遊具拡充（サイバーホイール2個購入）※基金取崩し
R1	2,413,500	ブックスタート事業 1,484,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		あそびの広場運営事業 929,500	遊具拡充（エアトラック1個購入）※基金取崩し
R2	2,070,000	ブックスタート事業 1,443,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 627,000	健康づくりの絵本（600冊：小学校1年生）
R3	3,827,000	ブックスタート事業 1,242,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		あそびの広場運営事業 1,980,000	遊具拡充（木質系知育型遊具等購入）※基金取崩し
		健康経営都市推進事業 605,000	健康づくりの絵本（600冊：小学校1年生）
R4	1,700,000	ブックスタート事業 1,150,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 550,000	健康づくりの絵本（500冊：小学校1年生）
R5 (見込)	1,747,000	ブックスタート事業 1,061,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 686,000	健康づくりの絵本（480冊：小学校1年生）

令和5年度充当事業について 【福祉事業 ①】

ブックスタート事業 予算額 133万円（うち基金充当額 106万円）

【事業の内容】

「ブックスタート・パック」

絵本の世界を親子で共有し、心触れ合うきっかけづくりのために、0歳児とその保護者を対象として、8・9か月児健診時に絵本を開く楽しい体験とブックスタート・パックを贈ります。



ブックスタートパック受渡状況

※(カッコ)内の数値は見込の人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	誕生月	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	301
	人数	33	32	21	24	26	35	20	21	22	25	20	22	
R5	誕生月	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	311
	人数	25	28	28	28	21	21	28	22	(38)	(25)	(27)	(20)	

「ベビカフェ」

ブックスタートのフォローアップ事業として、3歳未満の乳幼児とその保護者を対象として図書館司書・保育士・保健師がそれぞれの専門性を生かし、絵本と出会って間もない赤ちゃんが、絵本を通して親子の触れ合いを深め、将来にわたって多くの本に親しみながら成長していけるように、家庭での読書と親子の健康、子育て相談を一体化させた子育て支援を行う。

実施内容

- 例年、7月、11月、3月の年3回、乳幼児を対象とした読み聞かせや絵本の紹介、保健師や保育士による子育て、健康相談等
- ・絵本の紹介（図書館職員）
 - ・絵本読み聞かせ（ボランティア）
 - ・親子のスキンシップ遊び（保育士）
 - ・自由遊び、育児・健康相談等（保育士、保健師、図書館職員、ボランティア）

《ベビカフェの開催模様》



令和5年度 ブックスタート絵本

R5年4月～R5年12月 配布	R6年1月～R6年3月 配布
対象児：R4年7月1日生 ～R5年4月1日生	対象児：R5年4月2日生 ～R5年6月30日生
『バナナです』 作／川端誠 文化出版局 	『バナナです』 作／川端誠 文化出版局 
『ぎゅうぎゅうぎゅう』 おーなり由子／文 はた こうしろう／絵 講談社刊 	『いない いない ばあ』 松谷 みよ子／作 瀬川 康男／絵 同心社 

絵本2冊 / 岩見沢市ブックスタート事業のチラシ
親子ひろばマップ / アドバイスブックレット
赤ちゃん用ブックリスト「はじめての絵本」 / おもいでノート
図書館パンフレット / 赤ちゃん向け 図書館行事チラシ
ブックスタート布製バッグ

しあわせ広げる愛情ことば 岩見沢市ブックスタート事業 抱っこのあたたかさのなかで



平成25年7月開始

私たち岩見沢市民は、赤ちゃん一人ひとりの健やかな成長を、みんなで応援しています！

今日、ボランティアの皆さんから温かいメッセージとともに手渡されたブックスタート・パックは、親子が絵本をとおして心を触れあわせるきっかけを届けようと、橋本育英福祉基金事業から贈られました。

赤ちゃんにとって、大切な絵本になることを願っています。

岩見沢市立図書館



令和5年度充当事業について 【福祉事業 ②】

健康経営都市推進事業 予算額 2,506万円（うち基金充当額 69万円）

健康づくりの絵本の配付



【目的】

- 親子で健康への関心を持つきっかけづくり
- 子どもに正しい生活習慣を身につけるための教材として、学校や児童館等での幅広い活用を通じ、子どもから父母、祖父母にもアプローチし、大人的生活習慣の改善にも繋げる

令和2年度に北海道大学、絵本作家すずきもも氏と作成

【毎年新小学1年生に配付】



1年生から高学年、大人まで活用



*この絵本は、橋本育英福祉基金を活用して印刷されたものです。

学校名	R2	R3	R4	R5
岩見沢小学校	47	45	40	36
中央小学校	62	65	50	60
南小学校	81	66	58	63
志文小学校	39	29	29	42
幌向小学校	43	45	37	35
東小学校	53	53	40	50
美園小学校	67	63	64	55
日の出小学校	57	56	45	31
第一小学校	64	60	67	65
第二小学校	30	19	16	20
北真小学校	20	14	20	13
メープル小学校	9	5	2	2
北村小学校	16	12	8	10
栗沢小学校	22	18	20	13
合計	610	550	496	495

充当事業のうち育英事業の概要

姉妹都市との相互交流

◎充当優先順位

- 第1 中高生姉妹都市派
(ポカテロへ派遣)
- 第2 国際交流推進
- 第3 国際交流員招致

昭和60年5月20日米国アイダホ州ポカテロ市と姉妹都市提携調印

- ・同年より毎年、青少年国際交流による中高生訪問の派遣始まる
- ・昭和62年からポカテロ市からの青少年訪問団が来訪
- ・昭和60年の提携から今年で**38年間 467人を派遣**

※10代での海外経験はとても貴重な経験となり、広げた視野が国際的感覚を備えた人材育成へとつながっている。

姉妹都市との相互訪問の推移

(単位:人)

訪問先	年度	S60 ~ H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
ポカテロ市 へ派遣	中高生	241	11	10	0	0	4	6	272
	大人	190	1	1	0	0	2	1	195
ポカテロ市 から訪問	中高生	255	10	9	0	0	0	11	285
	大人	166	1	2	0	0	0	1	170

充当金額の推移

(単位:万円)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (見込)
予算額	944	885	732	1,067	1,019	989
充当金額	90	83	24	0	113	122

令和5年度充当事業について【育英事業】

国際交流推進事業 予算額 989万円（うち基金充当額 122万円）

【事業の内容】

◎ 姉妹都市をはじめとする諸外国との交流を推進し、岩見沢市と姉妹都市の米国アイダホ州ポカテロ市へ中高生の訪問団を派遣し、市民との交流を深める。

・人員 7人(うち1人は市職員)

・日程 7月27日～8月11日(16日間)

ポカテロ高校訪問・乗馬体験・イエローストーン国立公園
市役所等公共施設・アイダホ大学博物館・掃除博物館見学
ブラッド市長宅で歓迎会・ホストファミリーとの交流

◎ ポカテロ市から大人の訪問団を受け入れ、市民との交流を図る。

・人員 12人(うち団長1名)

・日程 7月4日～7月17日(14日間)



基金充当事業として考えられる事業

区分	対象者	事業名	事業予算 (R5年度予定)	充 当 額 配分予定額	配分割合	事 業 内 容
R6 充 当 事 業 (案)	育英事業 中学・高校生	継続 国際交流推進事業	950万円	129万円	42%	姉妹都市の米国アイダホ州ポカテロ市へ中高生訪問団を派遣し、交流を深める費用の一部を補助
	福祉事業 小学1年生	継続 健康経営都市推進事業	2,389万円	取崩 72万円	23%	小学1年生に健康づくりをテーマとした絵本を配付
	福祉事業 親と乳幼児	継続 ブックスタート事業	123万円	106万円	35%	乳幼児健診時に絵本・読み聞かせアドバイス集などをブックスタートパックとして贈呈 ※R6はR5.7月以降に誕生した子
	計		3,628万円	307万円	100%	

区分	対象者	事業名	事業予算 (R4年度)	充 当 額 配分予定額	配分割合	事 業 内 容
R5 充 当 事 業	育英事業 中学・高校生	継続 国際交流推進事業	989万円	122万円	41%	姉妹都市の米国アイダホ州ポカテロ市へ中高生訪問団を派遣し、交流を深める費用の一部を補助
	福祉事業 小学1年生	継続 健康経営都市推進事業	2,506万円	取崩 69万円	23%	小学1年生に健康づくりをテーマとした絵本を配付
	福祉事業 親と乳幼児	継続 ブックスタート事業	133万円	106万円	36%	乳幼児健診時に絵本・読み聞かせアドバイス集などをブックスタートパックとして贈呈
	計		3,628万円	297万円	100%	

ブックスタート事業

事業の目的 赤ちゃんとお母さんが、絵本を通して心触れ合うきっかけを作ります。

事業の概要 赤ちゃんとお母さんを対象に、一緒に絵本を開く楽しさを伝えるとともに、ブックスタートパックを贈ります。また、3歳未満の乳幼児を対象に読み聞かせや絵本の紹介などを行う「ベビカフェ」を実施します。

事業開始年 平成25年度

【見直し等の経過】

平成25年 7月 ブックスタート事業開始

平成25年11月 フォローアップ事業として、ベビカフェを実施
(以降、ベビカフェは年3回開催)

赤ちゃんとお母さんが絵本を開く喜びを分かち合います

- 「ブックスタート」は、すべての赤ちゃんとお母さんに、絵本と共に、一緒に絵本を開く楽しい時間を届ける活動です。
- 「ベビカフェ」は、市立図書館で年に数回開催されます。
- 親子で本に親しむひと時が、赤ちゃんの健やかな成長につながります。

【事業実績】

		R3年度	R4年度	R5年度 (10月未まで)
ブックスタート	実施回数	12回	12回	7回
	参加人数	330人	301人	201人
	配布率	100%	98%	97%
ベビカフェ	実施回数	3回	3回	1回
	参加者数	58人	54人	23人

※配布率は、ブックスタート対象の赤ちゃん数に対するパック配布数

8・9か月健診時に行います

保健センターから対象の赤ちゃんに案内をお送りしています。

NPOブックスタートについて

ブックスタート事業は、民間の非営利組織「NPOブックスタート」の支援のもとで実施されています。NPOブックスタートは、絵本が親子のふれあいをもたらすという理念のもと、ブックスタートを実施する自治体に廉価で絵本を提供しています。

ブックスタートパックの内容

- ・絵本2冊 ・布製バッグ
- ・アドバイスブックレット集
- ・絵本の選び方

ブックスタートパックは橋本育英福祉基金を財源として購入しています。



連携体制



図書館職員、保健師、保育士が主体となりボランティアの皆様と共に築く事業です

令和6年度予算額

123万2千円

新規 拡充 変更

新規	拡充	変更

生涯教育部図書館

2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (1) 健康づくりの推進

健康経営都市推進事業

新規	拡充	変更



事業の目的 「人もまちも企業も元気で健康」な地域社会の形成に向け、産学官金の連携により、健康経営都市を推進します。
事業の概要 産学官金の連携のもと、生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築をはじめ北海道大学COI-NEXTと連携した取組みを進める。

事業開始年度 平成29年度

平成28年6月 健康経営都市宣言

「人もまちも企業も元気で健康」をテーマに、地域の健康管理の目的を「医療や介護予防」から「健康で生きがいを持って暮らせる地域創出」へと変革させていく考え方。

特定非営利活動法人健康経営研究会により、平成28年6月に全国の自治体として初めて認定された。

●平成29年度～

【新しい地域】生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築を目指した取組み

【新しい生活】健康予報システムの構築・拡充や市民・企業向けのサービス提供に向けた検討
 北大COIと連携した健康コミュニティの推進

【新しい産業】農・食・健康を連動させた新商品開発に向けた検討

●令和元年度 げんき発見ドック※の開始
 ※従来の「管理」のための健康診断から自分の「げんき」を「発見する」ポジティブな健康づくりのための取組み

●令和3年度 母子健康調査をはじめとした妊娠期から出産、子育てを継続的にサポートする子育て支援施策や産学官が連携して市民意識や行動変容を促す取組みが評価され、プラチナ大賞を受賞

事業名	項目	R2	R3	R4
北大COI 地域健康講座	実施回数	3回	2回	回
	参加者数	61人	89人	人
健康ひろば	来場者数	6,813人	9,332人	10,836人
	うち健康チェック	718人	471人	578人

根拠法令:

関連計画: 岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画、岩見沢市総合戦略

少子高齢化の進展に伴い、公的社会保障(いわゆる「まもる」基盤)だけではなく、人々の暮らしを支えていくため、「つくる」、「つなぐ」という新しい視点を加え、地域独自の社会保障基盤の構築を目指しています。

- 医療や介護等の公的サービス、健康診査やがん検診などの「まもる」健康
- 市民自ら健康づくりを進める「つくる」健康
- 環境づくり・人・地域・企業や啓発などを通じてこれらを「つなぐ」健康

人もまちも企業も元気で健康



令和6年度予算額

2,389万円

健康福祉部健康づくり推進課

3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち (7) 国際・地域間交流の推進

国際交流推進事業

新規	拡充	変更



事業の目的 国際性豊かな地域社会を目指し、世界に開かれた活力のあるまちづくりを推進します。

事業の概要 姉妹都市への訪問団派遣をはじめ、諸外国との交流の推進や国際交流員（CIR）の招致などに取り組みます。

事業開始年度 昭和60年度

【事業の経過】

- S60.5.20 米国アイダホ州ポカテロ市と姉妹都市提携
- H1. 7.19 米国オレゴン州キャンピー市と姉妹都市提携
(旧栗沢町において提携)

姉妹都市交流事業

市民の国際感覚の醸成と多文化に触れる機会の提供
ポカテロ市

- 毎年10名前後の中高生が相互訪問
- 5年毎に姉妹都市提携の周年記念として大人による相互訪問

【姉妹都市ポカテロ市への訪問団派遣状況】 (単位:人)

	~ H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
中高生	244	11	11	12	11	-	-	6	7	302
大人	165									165

※R2、R3年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、ポカテロ市への派遣中止
※キャンピー市との姉妹都市交流はR02より休止中



訪問旅費の一部に橋本育英福祉基金を活用しています。

国際交流員（CIR）の招致

- ・市内の国際交流団体向け英会話教室のほか、保育園や町内会等で海外文化を伝えるレッスンや講演
- ・市内の学校を訪問し、児童生徒に海外文化を紹介する授業の実施
- ・外国人住民への窓口対応の補助（通訳・翻訳）
- ・市民向け多文化理解講座の開催
- ・英語版生活ガイドブックの作成
- ・SNSによる情報発信

市内国際交流団体との連携

- ・各団体総会、行事への参加
- ・姉妹都市交流、市主催行事への協力要請



根拠法令:

関連計画:

令和6年度予算額

951万円

総務部庶務課